

は じ め に

佐賀大学医学部長 向 井 常 博

平成16年度は法人化が始まった年である。法人化に伴う大学の構造改革プランには次の三つがある。大学の再編・統合による活性化，民間的経営原理の導入による法人化への移行，評価に基づく競争原理の導入などである。一つ目の再編・統合は我々も洗礼を受けているところである。二つ目に関しては医学部を含め佐賀大学としては試行錯誤の年であった。三番目はいろいろな評価が行われようとしている。既に始まっているものとして文部科学省21世紀 COE がある。中期目標計画は初年度が終わったところであるが，6年後に評価が行われその結果はその後の資源配分に反映されることになっている。

医学部のこの1年間の研究業績という観点から振り返ってみよう。外部資金の導入ではどのような成果が得られたのであろうか。対前年度比では1.3倍の伸びを示している。中期計画の20%アップは十分目標を達成しているといえる。この中でおもな伸びは産学連携や委任経理金である。21世紀 COE に関しては，医学部も関わった形で「地域貢献特別支援事業プログラム」（医学部関係はバリアフリー生活用具支援ものづくり大学プロジェクト）が行われた。科学研究費に関してみると，医学部の16年度獲得額は15年度よりわずかに上昇し，さらに平成17年度も伸びている。しかし，同規模の医学部の全国レベルでの獲得額からみると必ずしも満足できるものではなく，私はこの額の2倍の獲得を当面の目標にしたら如何かと思っている。この年で注目すべきことは年度内に寄付講座が二つも設置されたことである。一つは「血管不全学講座」であり，もう一つは「人工関節学講座」の設置である。17年度にも新たに一つの寄附講座新設が見込まれている。

医学系大学院で頭を悩ませているのが定員充足率である。16年度の医学部の大学院充足率は惨澹たるものであり，学長から注意を喚起された。中期目標評価にも響くというので深刻である。文科省は今後国立大学では大学院を重視する方向で検討をしている。大学院生を増やすことは研究者人口も増えるので業績を上げるのには一石二鳥である。幸い平成17年度は各講座の協力を得て開学以来の充足率になった。研究業績をあげるには研究者がもともと備えている地力が求められる。教員の採用にあたって選考基準を設けたのもそのためである。平成15年と16年の研究業績刊行物の件数はほぼ同じであるが，徐々に増加することを期待したい。

凡 例

- 1 この研究業績は、本学の専任教員、医員、医員（研修医）、大学院生、研究生、専攻生及び技官が、平成16年1月1日から平成16年12月31日の間に、またはこの期間の日付で発行（発表）した研究業績を収録した。

また、平成15年12月31日以前の研究成果のうち、未収録であったものを追加して収録した。

- 2 複数の講座等（講座内研究グループを含む）にまたがってまとめられた研究成果は、各々重複して掲載されている。そのため、著書、学術論文及び学会発表については、業績番号の次に以下のように区分記号を付した。

無印…………筆頭著者（発表者）が当該講座等（講座内研究グループを含む）に所属する研究成果

○印…………筆頭著者（発表者）が本学内の他の講座等（講座内研究グループを含む）に所属する研究成果

*印…………筆頭著者（発表者）が本学外に所属する研究者である研究成果

目 次

基礎医学系

分子生命科学講座	1
（旧生化学講座，旧薬理学講座，旧一般教育等化学，旧一般教育等生物学，旧免疫・血清学講座）	
生体構造機能学講座	15
（旧解剖学講座，旧生理学講座）	
病因病態科学講座	24
（旧病理学講座，旧微生物学講座）	
社会医学講座	31
（旧地域保健科学講座，旧法医学講座，旧一般教育等英語，旧一般教育等哲学）	

臨床医学系

内科学講座	37
膠原病・リウマチ	
呼吸器	
神 経	
血 液	
循環器	
腎 臓	
消化器（光学医療診療部を含む）	
肝臓・糖尿病・内分泌	
皮 膚	
精神医学講座	63
小児科学講座	64
外科学講座	74
一般・消化器	
呼吸器・心臓血管	
脳神経	
整 形	
泌尿器	
形 成	
産科婦人科学講座	95
眼科学講座	100
耳鼻咽喉科学講座	104
放射線医学講座	107
（放射線部を含む）	
麻酔・蘇生学講座	111
（手術部・集中治療部を含む）	

歯科口腔外科学講座	115
臨床検査医学講座	118
(検査部・輸血部を含む)	
救急医学講座	121
(救急部を含む)	
地域医療科学教育研究センター	
医療連携システム部門	122
福祉健康科学部門	123
地域包括医療教育部門	126
看護学科	
看護基礎科学講座	129
成人・老年看護学講座	130
母子看護学講座	133
地域・国際保健看護学講座	135
附属病院	
総合診療部	138
医療情報部	142
リハビリテーション部	143
薬剤部	145
看護部	146
附属施設等	
保健管理センター	148
総合分析実験センター	149
(生物資源開発部門・機器分析部門)	
寄附講座	
血管不全学講座	152

総 論

1. 研究業績刊行物等の件数

著作物	数
著 書（和文）	2 2 1
著 書（英文）	1 4
学術論文（和文）	3 8 3
学術論文（英文）	2 8 5

2. 研究経費（文部科学省，厚生労働省その他の省庁，地方公共団体，民間団体等からの研究助成金）の採択状況

(1) 文部科学省科学研究費補助金	8 0 件	1 3 5, 9 0 0, 0 0 0 円
内訳		
特定領域研究	3 件	1 6, 3 0 0, 0 0 0 円
基盤研究（B）一般	7 件	3 0, 0 0 0, 0 0 0 円
基盤研究（B）海外	1 件	1, 3 0 0, 0 0 0 円
基盤研究（C）一般	4 3 件	5 1, 2 0 0, 0 0 0 円
萌芽研究	5 件	7, 5 0 0, 0 0 0 円
若手研究（B）	2 1 件	2 9, 6 0 0, 0 0 0 円
(2) 厚生労働省科学研究費補助金	3 件	3 1, 8 9 7, 0 0 0 円
(3) 受託研究	2 1 件	3 2, 4 5 2, 6 9 8 円
(4) 各種研究助成補助金	1 8 件	2 4, 8 9 6, 0 0 0 円

3. 学位授与件数

課程博士 18人，論文博士 12人，看護修士 15人

4. 学術国際交流基金事業

海外の研究者等受入れ助成

対 象 者	招へい研究者	招へい期間	支 出 額
内科学・教授 長澤 浩平	米国 ピッツバーグ大学 内科学助教授 ウィリアム・リッジウェイ	平成16年9月21日 ～ 平成16年9月30日	480,160円
歯科口腔外科学・教授 後藤 昌昭	スリランカ ペラデニア大学 歯科口腔外科助教授 パラクラマ・ウェジャクーン	平成16年10月2日 ～ 平成16年10月31日	169,269円

留学生の受入れ助成，学費等助成

所 属	氏 名	指 導 教 官	助 成 期 間	支 給 総 額
内科学研究生	ワン 王 ダイ ガ 大海	内科学・教授 野出 孝一	平成16年 4 月 ～ 平成17年 3 月	360,000円
医科学専攻 (修士課程) 2 年	リ 李 コウエイ 光英	精神医学・教授 山田 茂人	平成16年 4 月 ～ 平成17年 3 月	360,000円

5. 教員の異動

平成16年 1 月 1 日から12月31日の間における講師以上の教官の異動は復職，休職を除き32名であった（人事異動参照）。

社会医学講座十日市健助教授，成人・老年看護学講座忽那龍雄教授の 2 名が定年により 3 月31日付けをもって退官となった。永年本学の発展のために果たされたご苦勞に対し感謝したい。

また，本学医学部から転出された 9 名の諸先生方のこれまでのご活躍に感謝し，今後益々のご発展を期待したい。

4 月 1 日には地域医療科学教育研究センター教授（福祉健康科学部門）に堀川悦夫氏（東北大学医学部助教授），5 月 1 日には分子生命科学講座教授に鄭文玉氏（池田義孝）（山形大学医学部助教授）が就任した。昇任人事は13名であった。社会医学講座教授に池田豊子氏（同助教授），麻酔・蘇生学講座教授に中島幹夫氏（同助教授）が教授昇任となった。その他昇任人事は助教授昇任 5 名，講師昇任 4 名であった。

今後ますますのご健闘をお祈りしたい。

なお，平成16年 4 月 1 日から国立大学が法人化されたことにより，国立間の異動については，辞職・採用の扱いになった。

異動年月日	所属・職名	氏 名	異動の内容
16. 1. 1	地域医療科学教育研究センター 助教授(医療連携システム部門)	富 永 広 貴	採用（崇城大学工学部助教授から）
16. 2. 1	救急医学講座・助教授	加 藤 博 之	昇任（弘前大学医学部附属病院総合診療部教授へ）
16. 2. 1	循環器内科・講師	挽 地 裕	昇任（本学助手から）
16. 3. 1	総合診療部・講師	山 城 清 二	昇任（富山医科薬科大学附属病院教授へ）
16. 3. 4	分子生命科学講座・助教授	伊 藤 正 樹	死亡
16. 3. 31	脳神経外科・講師	白 石 哲 也	辞職（ソニーコンピュータサイエンス研究所へ）
16. 3. 31	麻酔科蘇生科・講師	北 川 範 仁	辞職（鶴田整形外科病院へ）
16. 3. 31	耳鼻咽喉科・講師	宮 崎 純 二	辞職（佐賀県立病院好生館へ）
16. 3. 31	社会医学講座・教授	十日市 健 助	定年退職（本学非常勤講師へ）
16. 3. 31	成人・老年看護学講座・教授	忽 那 龍 雄	定年退職
16. 4. 1	地域・国際保健看護学講座・助教授	小 野 ミ ツ	退職（広島大学医学部教授へ）

16. 4. 1	文化教育学部・助教授	久 野 建 夫	昇任（本学医学部小児科助手から）
16. 4. 1	地域医療科学教育研究センター 教授（福祉健康科学部門）	堀 川 悦 夫	採用（東北大学医学部助教授から）
16. 4. 1	生体構造機能学講座・助教授	中 塚 映 政	採用（日本学術振興会特別研究員 （九州大学）から）
16. 4. 1	母子看護学講座・助教授	幸 松 美智子	採用（高知女子大学看護学部助手 から）
16. 4. 1	社会医学講座・講師	エドワーズ ベンジャミン	採用（福岡麻生専門学校非常勤講 師から）
16. 4. 16	成人・老年看護学講座・助教授	山 地 洋 子	採用（セイコーインスツルメンツ 株式会社から）
16. 5. 1	分子生命科学講座・教授	鄭 文 玉 （池田 義孝）	採用（山形大学医学部助教授から）
16. 5. 1	精神神経科・講師	上 川 英 樹	採用（国立療養所琉球病院から）
16. 5. 1	総合診療部・助教授	吉 原 幸治郎	採用（医療法人智仁会佐賀リハビ リテーション病院から）
16. 6. 1	血液内科・講師	船 井 典 子	昇任（本学助手から）
16. 6. 1	脳神経外科・講師	峯 田 寿 裕	昇任（本学助手から）
16. 6. 1	医療情報部・助教授	高 崎 光 浩	昇任（本学講師から）
16. 7. 1	耳鼻咽喉科学講座・助教授	倉 富 勇一郎	採用（九州大学医学部講師から）
16. 7. 1	社会医学講座・教授	池 田 豊 子	昇任（本学助教授から）
16. 7. 1	麻酔・蘇生学講座・教授	中 島 幹 夫	昇任（本学助教授から）
16. 7. 1	リハビリテーション部・助教授	浅 見 豊 子	昇任（本学助手から）
16. 7. 31	成人・老年看護学講座・助教授	水 主 いずみ	退職（静岡県立がんセンターへ）
16. 8. 1	内科学講座・助教授	井 上 晃 男	採用（獨協医科大学講師から）
16. 8. 1	救急医学講座・助教授	平 原 健 司	昇任（本学助手から）
16. 8. 1	総合診療部・講師	江 村 正	昇任（本学助手から）
16. 10. 1	血管不全学講座・助教授相当 （客員助教授）	加 藤 徹	採用（東京医科歯科大学医学部助 手から）
16. 10. 31	総合診療部・助教授	吉 原 幸治郎	辞職（佐賀リハビリテーション病 院へ）
16. 11. 1	地域・国際保健看護学講座・助 教授	木 村 裕 美	昇任（本学助手から）